

(宣言日) 2022年 8月 10日

富士山SDGs推進パートナー宣言書

私たちは、「富士山を守り 未来につなぐ 富士山SDGs」を推進する富士宮市とともに、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

団体・事業所名称	富士伊豆農業協同組合 富士宮地区本部
区分	<input type="checkbox"/> 企業（業種： ） <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・非営利団体 <input type="checkbox"/> 教育・研究機関 <input checked="" type="checkbox"/> その他団体（農業協同組合 ）
代表者職/氏名	地区本部長 深澤俊光
所在地	富士宮市外神東町117
URL	https://www.ja-fujiizu.or.jp/
電話番号	0544-58-0001
メールアドレス	fujinomiya-kanri@fjiz.ja-shizuoka.or.jp
反社会的勢力でないことの誓約	<input checked="" type="checkbox"/> 反社会的勢力でなく、反社会的勢力との関わりがない。

団体・事業所として2030年（中長期的な）のあるべき姿	
持続可能な農業の実現（安全で安心な地元産、国産の農畜産物を安定的に供給できる地域農業を確立し、農業所得増大に繋げる）総合事業を生かして地域社会に貢献する	
団体・事業所としてのSDGs達成に向けた特徴的な取組（予定を含む）	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業で発生した「廃プラスチック（農薬空ボトル・肥料袋・苗用ポット）の回収」 ・地元産堆肥の活用促進 ・食育活動・地産地消の推奨によるフードマイレージや食品ロスの削減 ・う宮～な マイバック持参の推進、バイオマスレジ袋の活用 	
SDGsの各目標に向けた取組内容及び目標	
注力するゴール	2022年12月までの取組内容及び目標
2, 8, 9, 15	地場野菜の直売所（う宮～な）での地場野菜の販売を行い、併せてスマート農業等を通じた農業所得の増大・販売拡大も進め、地域の食を守りながら消費拡大に結び付く様に事業を進める
3, 8	ノー残業デーを各部署にて1週間の間に1日設定して、それを積極的に行う事で時間外労働を減らし、働きがい、働きやすさを追求した働き方改革を進める。
7, 13	水道光熱費を前年度△5%を目指すことで温暖化や逼迫している電気供給の需要減少に繋げていく

(記入上の注意)

- 1 3つの目標に関する取組を記載してください。(環境・経済・社会の3分野からそれぞれ選択していることが望ましい。)
- 2 目標は、なるべく数値や数量でどのような貢献ができるかを表していることが望ましい。
- 3 上記の書式に書き切れない場合には、任意の様式で提出いただいても構いません。

宣言書送付先：富士宮市企画部企画戦略課 (kikaku@city.fujinomiya.lg.jp)